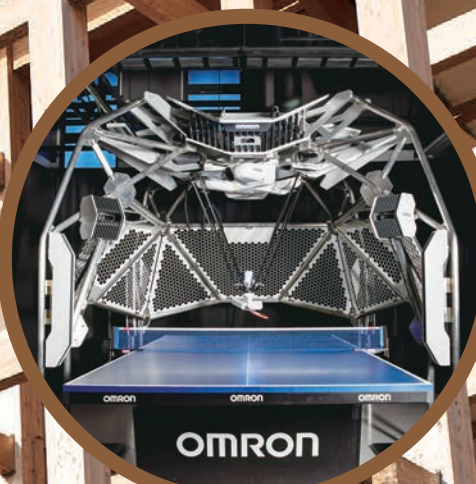


文化・交響

in 大阪・関西万博 / 「EXPO共鳴フェス」

企画・制作／読売新聞社とシネマ局

広告



卓球ロボット「FORPHEUS(フォルフェウス)」
写真提供:オムロン(株)

—ロボットと共に生きる時代へ。 AIロボティクスが拓く豊かな社会とは—

京都橘大学新学部・新学科開設記念講演会「文化交響—もしも、相棒がロボットだったら、どんな未来を描きますか?—」が6月18日(水)、大阪・関西万博を舞台に開催された。よゐこ・有野晋哉さんをファシリテーターとして迎え、オムロン(株)が開発している「フォルフェウス」を題材にAIロボティクスが拓く未来社会について、第一線の研究者、エンジニアが語り合った。約250人が「ロボットが相棒」である近未来の世界線に胸を躍らせた。

有野 「お上手ですね」など、声もかけてくれました。
諏訪 現在、人と双方方向のコミュニケーションができる第9世代まで進化しています。特徴的だったのは三宅さんにご協力頂いた第6世代で、相手の気持ちを理解してプレーできるようになったのです。ラリーが単調になって飽きていくと感じれば、わざと難しい球を返します。気を引き締めさせているのです。逆に、返しやすい球を打つことで、相手のやる気を高めてあげたりもします。カメラや各種のセンサーを使ってプレーヤーの表情、心拍数、動作などを解析することで、フォルフェウスは相手の感情を読み取っています。
三宅 このとき活用したのが、ゲームにも用いている「メタAI」で

**フォルフェウスで体感
コミュニケーションロボットの
進化**
有野 卓球ロボット「FORPHEUS(フォルフェウス)」を私共体験してきました。開発のきっかけは何だったんですか?
諏訪 機械が人の可能性や創造性を高める「融和」の世界を示そうと思ったのです。だからフォルフェウスは人に勝つことを目的としていません。ラリーが続いて人と機械とが一緒に楽しくプレーすることをめざしました。



<司会>
【お笑いコンビ・よゐこ】
有野 晋哉氏

1972年生まれ、大阪府出身。1990年お笑いコンビ・よゐこを結成。バラエティ番組の他、ドラマ・映画や、舞台の作・演出など多岐に渡り活躍中。CSフジテレビONE「ゲームセンターCX」の出演により「有野課長」の愛称で世界的に親しまれている。

京都橘大学工学部長・
工学部情報工学科 教授
松原 仁氏

東京大学大学院情報工学専攻博士課程修了。工学博士。AI研究の第一人者で、人とAIで手塚治虫の新作漫画を制作した「TEZUKA2020」などユニークなプロジェクトを多数手がけている。2026年4月より、工学部ロボティクス学科※教授就任予定。人工知能学会元会長。
※仮称。2026年4月開設予定(設置構想中)。計画内容は予定であり変更することがあります。



有野 人とロボットが一緒に暮らした
**空気を読むロボットが
相棒に?!**

三宅 私たち人間は、「少し疲れてる?」とか相手の身体を気遣うことから関係性がはまります。AIも身体をもっていないと感情は育ちにくく、環境と知能を結びものとして、身体が必要なのです。

諏訪 機械が人の可能性や創造性を高める「融和」の世界を示そうと思ったのです。だからフォルフェウスは人に勝つことを目的としていません。ラリーが続いて人と機械とが一緒に楽しくプレーすることをめざしました。

有野 近い将来「人によりそうロボット」も誕生するのでしょうか。
松原 AIはあくまでも知能であって、身体はもっていません。人の五感のような感覚は、理解していない。一方で、ロボットは身体をもっており、目や耳などに相当するカメラやセンサーを搭載することもできます。今、両者を融合させる「AIロボティクス」が注目を集めています。フォルフェウスはまさにその代表例。今後、AIに身体をもたせて様々な経験をさせることで、人とは異なる感覚・感性を持つロボットが誕生すると思います。

す。メタAIとは、プレーヤーの感情を理解しゲーム全体を制御するための技術です。様々なバリエーションから得た生体情報などをもとに、メタAIがプレーヤーの感情を読み解き、その状況に応じたプレーを判断してフォルフェウスに指示を送っています。

有野 人とロボットが一緒に暮らした
**空気を読むロボットが
相棒に?!**
松原 空気を読むことはAIやロボットを考えるうえで重要な要素です。これまでのロボットは、「今日は暑いね」と言ったり「37℃です」と答えたりしていました。これは事実を伝えています。が、心が通じているように感じませんか。それに対して「冷たいお茶を用意しましょうか」とか「ビールがおいしそうですね」と、人に合わせて対話できるロボットがいるとどうでしょう。家族の一員として話し相手になってくれるロボット、どんな話でもこやかにうなずきながら聞いてくれる存在であれば、需要がありそうです。介護現場では、雑談を通して、患者

有野 AIやロボットに携わるのは理系というイメージがありますが、実際のところはどうですか? 大学に期待するところありますか?
三宅 私は子どものころは、小説ばかり読んでいました。今の道につながる原動力は、『宇宙戦艦ヤマト』に登場するロボットの「アナライザー」に憧れたことです。アナライザーは頭脳明晰だけでなく、酔っぱらって話しかけようとする相手になってくれることでもあります。そんなロボットがいて未来をめざし、理系へ進みました。AIやロボットをつくる根本にはこんな社会をつくりたいという思いがあります。

有野 AIやロボットに携わるのは理系というイメージがありますが、実際のところはどうですか? 大学に期待するところありますか?
三宅 私は子どものころは、小説ばかり読んでいました。今の道につながる原動力は、『宇宙戦艦ヤマト』に登場するロボットの「アナライザー」に憧れたことです。アナライザーは頭脳明晰だけでなく、酔っぱらって話しかけようとする相手になってくれることでもあります。そんなロボットがいて未来をめざし、理系へ進みました。AIやロボットをつくる根本にはこんな社会をつくりたいという思いがあります。

有野 AIやロボットに携わるのは理系というイメージがありますが、実際のところはどうですか? 大学に期待するところありますか?
三宅 私は子どものころは、小説ばかり読んでいました。今の道につながる原動力は、『宇宙戦艦ヤマト』に登場するロボットの「アナライザー」に憧れたことです。アナライザーは頭脳明晰だけでなく、酔っぱらって話しかけようとする相手になってくれることでもあります。そんなロボットがいて未来をめざし、理系へ進みました。AIやロボットをつくる根本にはこんな社会をつくりたいという思いがあります。

有野 AIやロボットに携わるのは理系というイメージがありますが、実際のところはどうですか? 大学に期待するところありますか?
三宅 私は子どものころは、小説ばかり読んでいました。今の道につながる原動力は、『宇宙戦艦ヤマト』に登場するロボットの「アナライザー」に憧れたことです。アナライザーは頭脳明晰だけでなく、酔っぱらって話しかけようとする相手になってくれることでもあります。そんなロボットがいて未来をめざし、理系へ進みました。AIやロボットをつくる根本にはこんな社会をつくりたいという思いがあります。

有野 AIやロボットに携わるのは理系というイメージがありますが、実際のところはどうですか? 大学に期待するところありますか?
三宅 私は子どものころは、小説ばかり読んでいました。今の道につながる原動力は、『宇宙戦艦ヤマト』に登場するロボットの「アナライザー」に憧れたことです。アナライザーは頭脳明晰だけでなく、酔っぱらって話しかけようとする相手になってくれることでもあります。そんなロボットがいて未来をめざし、理系へ進みました。AIやロボットをつくる根本にはこんな社会をつくりたいという思いがあります。

有野 AIやロボットに携わるのは理系というイメージがありますが、実際のところはどうですか? 大学に期待するところありますか?
三宅 私は子どものころは、小説ばかり読んでいました。今の道につながる原動力は、『宇宙戦艦ヤマト』に登場するロボットの「アナライザー」に憧れたことです。アナライザーは頭脳明晰だけでなく、酔っぱらって話しかけようとする相手になってくれることでもあります。そんなロボットがいて未来をめざし、理系へ進みました。AIやロボットをつくる根本にはこんな社会をつくりたいという思いがあります。

有野 AIやロボットに携わるのは理系というイメージがありますが、実際のところはどうですか? 大学に期待するところありますか?
三宅 私は子どものころは、小説ばかり読んでいました。今の道につながる原動力は、『宇宙戦艦ヤマト』に登場するロボットの「アナライザー」に憧れたことです。アナライザーは頭脳明晰だけでなく、酔っぱらって話しかけようとする相手になってくれることでもあります。そんなロボットがいて未来をめざし、理系へ進みました。AIやロボットをつくる根本にはこんな社会をつくりたいという思いがあります。

有野 AIやロボットに携わるのは理系というイメージがありますが、実際のところはどうですか? 大学に期待するところありますか?
三宅 私は子どものころは、小説ばかり読んでいました。今の道につながる原動力は、『宇宙戦艦ヤマト』に登場するロボットの「アナライザー」に憧れたことです。アナライザーは頭脳明晰だけでなく、酔っぱらって話しかけようとする相手になってくれることでもあります。そんなロボットがいて未来をめざし、理系へ進みました。AIやロボットをつくる根本にはこんな社会をつくりたいという思いがあります。

有野 AIやロボットに携わるのは理系というイメージがありますが、実際のところはどうですか? 大学に期待するところありますか?
三宅 私は子どものころは、小説ばかり読んでいました。今の道につながる原動力は、『宇宙戦艦ヤマト』に登場するロボットの「アナライザー」に憧れたことです。アナライザーは頭脳明晰だけでなく、酔っぱらって話しかけようとする相手になってくれることでもあります。そんなロボットがいて未来をめざし、理系へ進みました。AIやロボットをつくる根本にはこんな社会をつくりたいという思いがあります。

有野 AIやロボットに携わるのは理系というイメージがありますが、実際のところはどうですか? 大学に期待するところありますか?
三宅 私は子どものころは、小説ばかり読んでいました。今の道につながる原動力は、『宇宙戦艦ヤマト』に登場するロボットの「アナライザー」に憧れたことです。アナライザーは頭脳明晰だけでなく、酔っぱらって話しかけようとする相手になってくれることでもあります。そんなロボットがいて未来をめざし、理系へ進みました。AIやロボットをつくる根本にはこんな社会をつくりたいという思いがあります。

有野 AIやロボットに携わるのは理系というイメージがありますが、実際のところはどうですか? 大学に期待するところありますか?
三宅 私は子どものころは、小説ばかり読んでいました。今の道につながる原動力は、『宇宙戦艦ヤマト』に登場するロボットの「アナライザー」に憧れたことです。アナライザーは頭脳明晰だけでなく、酔っぱらって話しかけようとする相手になってくれることでもあります。そんなロボットがいて未来をめざし、理系へ進みました。AIやロボットをつくる根本にはこんな社会をつくりたいという思いがあります。



オムロン株式会社 執行役員
技術・知財本部長 兼
オムロン サイニックス株式会社
代表取締役社長
諏訪 正樹氏

立命館大学理工学研究科博士後期課程修了。博士(工学、立命館大学)。オムロン株式会社入社後、画像・光センシングの研究開発に従事。同社の技術・知財本部に在籍しつつ2018年オムロンサイニックス株式会社 代表取締役社長に就任(現任)。2022年より現職。

有野 未来をつくる面白い分野だと興味を湧きました。「人の心を知りたい」と思う人が、ロボット開発をする、優しいロボットが生まれそうですね。

有野 未来をつくる面白い分野だと興味を湧きました。「人の心を知りたい」と思う人が、ロボット開発をする、優しいロボットが生まれそうですね。

有野 未来をつくる面白い分野だと興味を湧きました。「人の心を知りたい」と思う人が、ロボット開発をする、優しいロボットが生まれそうですね。

有野 未来をつくる面白い分野だと興味を湧きました。「人の心を知りたい」と思う人が、ロボット開発をする、優しいロボットが生まれそうですね。

有野 未来をつくる面白い分野だと興味を湧きました。「人の心を知りたい」と思う人が、ロボット開発をする、優しいロボットが生まれそうですね。



講演会の内容は
WEBサイトでも
公開中!

2026年4月 京都から“世界を変える”新学部・新学科誕生 京都橘大学は10学部18学科の総合大学へ

特設サイト



デジタルメディア学部※
デジタルメディア学科

工学部
ロボティクス学科※

健康科学部
臨床工学科※

※すべて仮称。2026年4月開設予定(設置構想中)。計画内容は予定であり変更することがあります。

OPEN CAMPUS

7/19sat・20sun | 8/2sat・3sun

京都橘大学のオープンキャンパスでは、魅力的なコンテンツをたくさんご用意しています! 詳しくは大学ホームページでご確認ください。

松原教授の夢と研究の世界に出会える
「ヒトシの部屋」公開中!



2026年春「ACADEMIC TERRACE」誕生! リアルとデジタルの世界をつなぎ、知と創造が交差する、オープンイノベーション拠点。共創による新しい学びが始まります。



京都橘大学

KYOTO TACHIBANA UNIVERSITY

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34